

事務事業マネジメントシート (20年度実績と21年度計画)

21年度予算編成後 平成 21 年 3 月 25 日 作成
20年度決算把握後 平成 21 年 10 月 8 日 作成

事務事業名		農地・水・環境保全向上対策事業			<input checked="" type="checkbox"/> マニフェスト関連	<input type="checkbox"/> 全庁横断課題関連	<input type="checkbox"/> 集中改革プラン関連
総合計画体系	政策	3	働く人々が輝き続けるまちづくり		所属部	産業振興部	課長名 渡邊直美
	施策	11	農業の振興		所属課	農政課	担当者名 小畑英之
	基本事業	30	後継者の育成		所属班	農地整備班	(内線) 1164
予算科目		会計 1	款 6	項 1	目 12	事業連番 10269	<input type="checkbox"/> 20年度で終了 <input type="checkbox"/> 21年度から開始
事業期間		<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返(開始年度 19 年度)			<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (~ 年度)		
事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)							
【事業の内容】 ・農地・水・環境を将来にわたり良好な状態で保全し、質的な向上を図るため、地域住民が一体となり農地・農業用施設を管理していく事業。平成19年度からの新規事業。 【業務の流れ】 ①地元説明会②参加団体(区)の取りまとめ③参加団体代表者との協議④地域協議会への申請事務 【主な予算費目】・6-1-12-3 時間外勤務手当により支出							

1 現状把握の部(DO、PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標

① 手段(主な活動) 20年度実績(20年度に行った主な活動)(DO) 業務の内容と同じ	21年度計画(21年度に計画している主な活動)(PLAN) ・地域協議会への申請事務・加盟団体への補助金交付事務 ・加盟団体への指導
② 対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等 ・事業参加住民 ・農地・農業用施設	⑤活動指標(事務事業の活動量を表す指標)=①の指標 (単位) ア 農業関係集落の事業参加割合 % イ 農地における事業実施面積割合 %
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか) ・地域住民の農業に対する理解が深まる。 ・農業施設の適正管理ができる。	⑥対象指標(対象の大きさを表す指標)=②の指標 (単位) ア 事業参加人数 人 イ 事業実施面積 ha
④ 上位の目的(さらにどんな目的に結び付けるのか) ・後継者が確保されている。	⑦成果指標(意図の達成度を表す指標)=③の指標 (単位) ア 認定農業者数/農業従事者数 % イ
⑧上位成果指標(上位目的の達成度を表す指標)=④の指標 (単位) ア 認定農業者数/農業従事者数 % イ	

(2) 総事業費・指標等の推移

		単位	18年度 実績(決算)	19年度 実績(決算)	20年度 目標(当初予算)	20年度 実績(決算)	21年度 目標(当初予算)	22年度 (目標)	23年度 (予定)	全体計画 ~ 年度	
投入量	事業費	国庫支出金	千円		5,885	6,400	10,584	354	10,584	10,584	総 ト ー タ ル コ ス ト (期間 限定 複数 年度 の み 記 載) 0 0 0 0
		都道府県支出金	千円		2,943	3,200	5,292		5,292	5,292	
		地方債	千円								
		その他	千円								
		繰入金	千円								
		一般財源	千円		2,943	3,876	5,636	5,322	5,676	5,676	
	(A) 事業費計	千円		0	11,771	13,476	21,512	5,676	21,552	21,552	
	うち指定経費	千円									
	うち時間外、特殊勤務手当	千円									
	人件費										
正規職員従事人数	人			3	3	3	3	3	3		
延べ業務時間	時間			50	50	50	50	50	50		
(B)人件費計	千円		0	199	199	199	199	199	199		
トータルコスト(A)+(B)	千円		0	11,970	13,675	21,711	5,875	21,751	21,751		

活動指標	ア %								3	目 標 数 計 画 22 年 度
	イ %								3	
対象指標	ア 人								3	
	イ ha									
成果指標	ア %									
	イ %									
上位成果指標	ア %									
	イ %									

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等

① この事務事業を開始したきっかけは何か?いつ頃どんな経緯で開始されたのか?

・平成19年度事業の事業説明年度である。

② 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?

H19年度開始の新規事業である。

③ この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?

・事業事務が煩雑である。(事業対象者) ・交付金の使い方に制約が多い。(事業対象者)

事務事業名	農地・水・環境保全向上対策事業	所属部	産業振興部	所属課	農政課
-------	-----------------	-----	-------	-----	-----

2 評価の部(SEE) *原則は20年度の事後評価、ただし複数年度事業は20年度における途中評価

目的 妥当性 評価	①政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】⇒ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている ⇒【理由】 ・平成19年度から始まる国の政策事業である。
	②公共関与の妥当性 なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】⇒ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である ⇒【理由】 ・農業の後継者不足に伴う高齢化で、この先、農業用施設維持管理・農村環境の整備ができなくなる。
	③対象・意図の妥当性 対象を限定・追加すべきか？意図を限定・拡充すべきか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】⇒ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 適切である ⇒【理由】 対象、意図とも適切である。
有効性 評価	④成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？	<input type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】⇒ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】 事業がまだ始まったばかりであり、成果の判断はできない。
	⑤廃止・休止の成果への影響 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？	<input type="checkbox"/> 影響無 ⇒【理由】⇒ 21年度計画(21年度に計画している主な活動)(PLAN) <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 ⇒【その内容】 期間限定(5年、H23まで)の国庫補助事業であり、廃止・休止はできない。
	⑥類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	<input type="checkbox"/> 他に手段がある ⇒(具体的な手段、事務事業) <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】⇒ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 19年度からの新規事業のため、まだ検討の余地がない。 <input type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】
効率性 評価	⑦事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】⇒ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 期間限定(5年、H23まで)の国庫補助事業であり、削減の余地はない。
	⑧人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか？(アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】⇒ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 19年度からの新規事業のため、まだ検討の余地がない。
公平性 評価	⑨受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】⇒ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】 ・平成19年度から始まる国の政策事業である。

3 評価結果の総括(SEE)

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)
① 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ② 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ③ 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④ 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	①目的妥当性については、…。 ②有効性については、…。 ③効率性については、…。 ④公平性については、…。

4 今後の方向性(事務事業担当課案)(PLAN)

(1) 今後の事業の方向性(改革改善案)…複数選択可 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)	(2) 改革・改善による期待成果(廃止・休止の場合は記入不要) <table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持 低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持 低下			
				コスト														
		削減	維持	増加														
成果	向上																	
	維持 低下																	

(3) 改革, 改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策

5 事務事業貢献度評価結果(施策の統括課長の総括)

(1) 目的の直結度	1	(直結度高い 1~3 直結度中 4~6 直結度低い 7~9)
(2) 貢献度	1	(貢献度高い 1~3 貢献度中 4~9 貢献度低い 10~12)